

小型コンクリート構造物検査システム

Multi Path Linear

マルチパスリニアアレイレーダ MPLA-1645A

Array Radar



遂にマルチパスレーダを小型化!
業界トップレベル、かつ3次元化技術で一目瞭然に
コンクリート内部を透視!

Multi Path Linear Array Radar MPLA-1645A

原理	マルチパスリニアアレイレーダ
全長×全幅×全高	310mm × 230mm × 150mm
周波数帯域	100MHz ~ 約4.5GHz ※FMCW方式
アンテナ素子数	16素子 (送信:8、受信:8)
測定幅	約260mm ※1回の走査による測定値
測定深度	約300mm ※検査対象条件により変化する
測定ピッチ	10mm/進行方向 20mm/直行方向
センサー部重量	6.0kg

M MITSUI E&S

株式会社三井E&Sマシナリー

Multi Path Linear

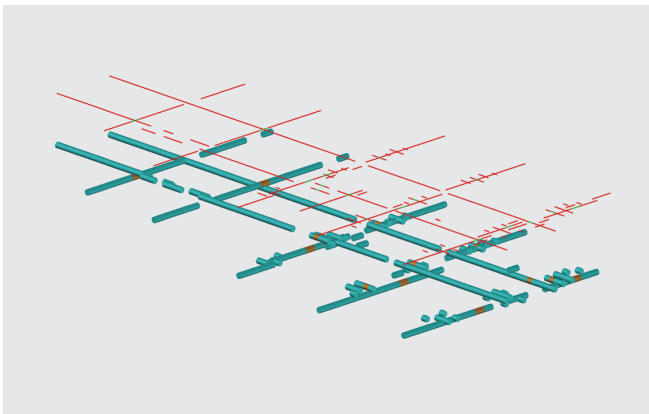
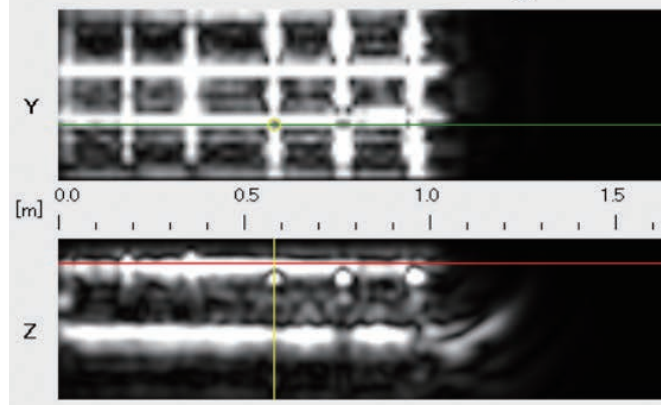
マルチパスニアアレイレーダ MPLA-1645A

Array Radar

Conventional function

変わらない使いやすさ

独自ソフトを用いて多角的に表示が可能。
マルチパス方式によって、高品質・高分解能で
コンクリート内部の3次元解析をすることが
出来ます。



New function 1

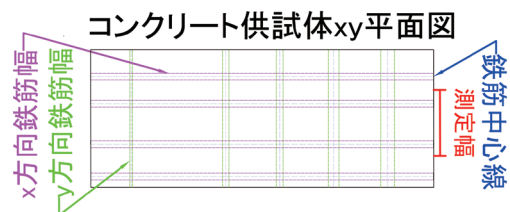
正確な鉄筋位置把握のために

レーダ計測データから、鉄筋を抽出した3DCAD
ファイルの生成が可能*1。ファイル形式は、
Autodesk® AutoCAD®のDWG™ *2.3が
選択出来ます。本ファイルを利用して、補修などの
設計が効率化出来ます。

New function 2

重要なのは現場での施工性、
現場での作業効率を考えて

AutoCADのXY平面上に鉄筋中心線を表示可能。
鉄筋位置を現場でプロジェクターなどで投影
することにより、現場での作業性向上が可能に
なります。



*1 AutoCADのファイル形式生成には別途弊社の オプションが必要になります。

*2 Autodesk, AutoCAD およびDWGは、米国および その他の国々における

Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。

*3 AutoCADの使用にはお客様自身で契約をしていただく必要があります。